

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号
 Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番
 URL : <https://www.sakai-kita.jp/>
 E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp
 例会日 毎週金曜日 午後0時30分
 例会場 南海グリラ 天兆閣別館4階「ローズ」 Tel:(072)222-0131 番(代表)
 ガバナー(第2640地区) : 森本芳宣
 ガバナー事務所 URL : <http://rid2640g.com/morimoto/>
 E-mail : morimoto@rid2640g.com
 会長: 塩見 守 幹事: 澤井久和 広報委員長: 池田茂雄 編集者: 北村勝博



四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2022年9月2日(金)第1963回

卓話 「歩んで来た道」
 卓話者 米山奨学生(和歌山アゼリアRC)
 許 情恩 (ホ ジョンウン) 様
 (母国: 韓国)
 今週の歌 「君が代」「奉仕の理想」
 「バースディソング」
 お客様の紹介・出席報告・
 会長の時間・委員会報告・
 幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(9月)

那須宗弘会員 澤井久和会員

米澤邦明会員

北側 和代様 米澤 洋子様

○結婚記念祝い(9月)

北側一雄会員

前回の例会

2022年8月26日(金)第1962回

卓話 「堺市における里親支援について」
 卓話者 児童養護施設 清心寮
 里親支援専門相談員 井筒 貴史 様
 紹介者 中田 学 会員
 今週の歌 「R-O-T-A-R-Y」
 「夏の思い出」
 お客様の紹介・出席報告・
 会長の時間・委員会報告・
 幹事報告・SAA報告

<8月26日(金)の出席報告>
 会員数 29名
 出席会員 19名
 欠席会員 10名
 ゲスト 2名
 ビジター 0名

次回の例会

2022年9月9日(金)第1964回

【夜間例会】インフォーマルミーティング

開 会 : 18時30分~ *雨天決行

場 所 : 南海グリラ テラス (BBQスペース)



イマジン
ロータリー

2022-23年度 国際ロータリーのテーマ

「イマジン ロータリー」

国際ロータリー会長 ジェニファー・E・ジョーンズ (カナダ・ウインザーローズランドRC)

卓 話

「堺市における里親支援について」

児童養護施設 清心寮

里親支援専門相談員 井筒 貴史 様

紹介者 中田 学 会員



堺市では、令和4年度の1年間を「さかい里親 YEAR」として、登録里親さんを増やす取組を強化しています。具体的には、さかいSDGs推進プラットフォーム会員企業や地域の団体の方にご協力いただき、相談会・説明会の開催や里親啓発ステッカーの掲示による情報発信の強化などに取り組みます。

そのほか、パネル展や相談会も回数を増やして開催する予定です。

改めて、「里親制度」について学び、堺市において登録里親さんを増やす取り組みについて考えたいと思います。

1. 社会的養護について

保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うこと。社会的養護は、「子どもの最善の利益のために」と「社会全体で子どもを育む」を理念として行われている。

2. 里親制度について

里親制度は、児童福祉法に基づく子どもの福祉のための制度

「里親とは」

要保護児童（社会的養護が必要な子ども）を養育することを希望する者であって、都道府県知事が適当と認めるものをいう。（児福法第6条の4）

「ファミリーホームとは」

要保護児童の養育に関し相当の経験を有する者の住居において養育を行うもの定員5~6名

（児福法第6条の3第8項）

3. 里親の種類

①養育里親

もとの家庭で生活できるようになるまで、一定期間家族の一員として養育するもの。または子どもが社会的に自立するまでの間養育するもの。

②専門里親

虐待を受けた子どもや非行等の問題を有する子ども、障がいのある子ども等、専門的な援助を必要とする子どもを養育するもの。

③養子縁組里親

親が将来にわたって養育できない子どもを養子縁組前提で養育するもの。

④親族里親

実親が死亡、行方不明、拘禁、入院等の事情で養育できなくなった時、子どもの扶養義務者及びその配偶者である親族で養育するもの。「祖父母及び兄・姉」をさす。

里親啓発を堺7ロータリークラブにもご協力いただけたら、当クラブが窓口となり9月度堺7RC連絡会へ井筒様にご出席いただき、直接お願いしていただくようになりました。



長らく続くコロナ禍で、清心寮のこどもたちと一緒にできる活動が全く出来ていませんが、こどもたちへお土産にシャインマスカットをお持ち帰りいただきました。

「この度はお時間を作っていただきありがとうございました。また、こどもたちにお土産もいただき、本当にありがとうございました。早速夕食に提供します。」と、井筒様よりお礼のお言葉いただきました。（紹介者：中田 学会員）

家庭で暮らせない
子どものために

里親啓発に ご協力ください

里親制度を広めたい！

堺市では、里親のことを一人でも多くの人に知っていただくために、啓発活動を行っています。
堺市内のお店や会社などにチラシやポスターを掲示していただける方を募集しております。
啓発活動で里親の支援に力を貸してください。

掲示以外で啓発活動に
ご協力いただける場合も
ぜひご連絡ください

掲示できるもの（例）

チラシ (A4、B5)
リーフレット (A4三つ折り)
ポスター (B2、B3)
カード (名刺サイズ)
など



設置例

ご協力いただける際はこちらへご連絡ください（問合せ先）

子ども家庭支援センター清心寮（リーフ）＜堺市里親支援機関＞

〒591-8035 堺市北区東上野芝町2丁499番地



里親ってなに？
詳しくはHPへ

TEL 072-252-3521



「リーフ」は堺市より業務委託を受けて、里親支援をしています。



会長の時間

会長 塩見 守



本日の会長の時間は、第104回全国高校野球選手権大会のお話をさせていただきます。今週22日の月曜日に阪神甲子園球場で決勝が行なわれました。仙台育英高校（宮城）が下関国際高校（山口）を8-1で破り、春夏通じて初優勝を果たしました。東北勢は春夏計13回目の決勝で初めて勝利し、優勝旗の「白河の関超え」を成し遂げ、野球伝来150年の節目の年に、東北の人々の悲願がかないました。須江航監督（39）は「宮城の皆さん、東北の皆さん、おめでとうございます」と喜んだ。東北

勢は夏の選手権の第1回大会（1915年）で秋田中（現秋田高）が準優勝した。ただ、20世紀で決勝に進んだのは春夏の大会で計4回と他地域と比べて少なかった。雪深く寒い土地柄から冬季練習がままならないなど、苦戦を強いられていました。だが、私立校を中心に室内練習場などが設備され、交通網が発達すると徐々に風向きが変わった。関西出身者らが「野球留学」で東北の高校に入学するケースが増え、地元の選手と切磋琢磨して力を伸ばした。飛躍の一因として、東北の仲間意識があることも挙げられる。指導者同士のつながりが深く、練習試合に加えて、下級生に実戦経験を積ませる腕試しのリーグ戦なども行われている。新型コロナウイルスの影響で行動制限が厳しかった時も、県内や東北6県

内ならば試合を許されるケースがあり、感染対策に気を付けながら実践を重ねた。須江監督も埼玉出身ながら「東北は一つ。東北なら他県の代表でも一生懸命応援してしまうのが東北の人。私も同じ」と笑う。東北に入る「玄関口」といわれた昔の関所の「白河の関」を用いて、高校野球界では東北勢が甲子園で優勝旗を手にするを「白河の関越え」と表現してきた。東北勢は春夏合わせて過去 12 回、決勝の壁に跳ね返されてきた須江監督は「なぜ今まで東北勢が優勝できなかったのか不思議。1 校が壁を越えれば続くと思う」陸上の男子 100 メートルで日本選手が 9 秒台を一度達成すると他の選手が続いたように、仙台育英が「白河の関越え」を果たしたことで、他の東北勢の「心理的な壁」も取り払われたかもしれません。優勝コメントで須江監督は、高校入学時から新型コロナウイルスに影響されてきた 3 年生は入学式どころか、中学の卒業式もおそらくちゃんとできてなくて。高校生活は僕たち大人が過ごしてきた高校生活とは違うんです。青春ってすごく密なんで。そういうのは全部駄目だ、全部駄目だと言われて。どこかでいつも止まってしまう苦しい中で、その中で、あきらめないでやってくれたこと。それをさせてくれたのは僕たちだけじゃなくて、全国の高校生みんながよくやってくれて。下関国際さんもそうですが、大阪桐蔭さんとか、そういう目標になるチームがあったから、どんな時でもあきらめないで暗い中でも走って行けたので。すべての高校生の努力のたまものが、ただただ最後、僕たちがここに立っただけなので、ぜひ全国の高校生に拍手してもらえたらと思います。私はこのコメントを聞いて胸が熱くなりました。やはり高校野球は感動を与えてもらえ、すごくいいスポーツだと思いますので、これからも応援していきたいと思っています。



委員会報告

社会奉仕委員会

「秋の交通安全運動キャンペーン活動

中止のお知らせ

社会奉仕委員長 平野祥之



秋の交通安全運動の期間は 9 月 21 日 (水) から 30 日 (金) までの 10 日間です。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点よりキャンペーン活動は中止となりましたのでお知らせいたします。

SAA 報告

(50 音順)

- 北側 和代様 今日、清心寮の方が来られるとのことで、参加させていただきました。子どもたちに少しでも楽しい思い出を作ってもらいたいと思います。皆さまの優しさに感謝です。
- 坂田兼則会員 井筒様、ようこそ。
- 澤井久和会員 先週は告別式の為、欠席しました。ご迷惑をお掛けしました。
- 塩見 守会員 井筒様ようこそ堺北 RC へお越しくださいました。本日卓話よろしくお願いたします。
- 嶽盛和三会員 井筒先生大変なお仕事ご苦労様です。私も 50 年前、養護施設の指導員をしておりました。
- 中田 学会員 井筒副施設長、本日の卓話よろしくお願いたします。
- 畑中一辰会員 嫁の誕生日お祝いいただきありがとうございます。南海グリル弁当を配達してもらいましたが、南海グリルの赤い車で配達されました。感動です。
- 吉村博勝会員 井筒貴史様、本日の卓話よろしくお願いたします。

合計 29,000 円